

---

# ムーチカ・ミーチカ

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ムーチカ・ミーチカ

### 【NNコード】

N5787K

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

ムーチカ・ミーチカは母親に捨てられた……。

「おねえちゃん。お腹へったよう

「待つてな。もうすぐ母ちゃんが来るから」

ちよつとトイレへ行つてくるわと言つたきり戻らない母。街頭時計はすでに8時を指している。

要するに母は子らを捨てたのだ。父親が他界し早や数年。最初はがんばつていたが病氣をしてしまつた。国からの支援もほとんどない。そんなわけで……。

かどうかはわからぬが、とにかく、ムーチカとミーチカは捨てられたのだ。

「おうち、帰りたいよう

「わがまま言わないの」

「やだ。やだ。おうち帰りたい。わあああん

「ミーチカのバカ！」

家に帰つても誰もいないのだが。母親はすでに夜行で旅立つている。

ムーチカとミーチカは何かおかしいと気づいたが幼いので何があるのかよくわからず、ひとまづお腹がすいてすいてたまらないのでこれを何とかしなくてはならないと思つた。

「ミーチカ、コンビニ行こりう」

「え。おねえちゃん、お金持つてるの」

「ないよ」

「うなりや万引きするほかないってわけだ。

「いりつしゃいませー」

ムーチカとミーチカはびくびくしながら弁当「ローナー」へ回る。

店員のおねえさんは何か様子がおかしいなと気づく。

しばらく、ムーチカとミーチカはどうにじよつかなじれにじょつかなと悩んでいた。

そして、決めると急いで弁当を服の中に隠した。

ばればれ！

おねえさんはちゅうとふふときた。何これ。お腹ふくらんでば  
ればれやんけ。

大笑いしそうになつたが、いかんいかんと。きつとちびついら切  
実な事情があるんだ。ようかわからんけど、笑つたらいかん。  
とはいへ、今事務室には店長がいる。ここで注意したら店長に見  
つかる。ここは店長は鬼店長だ。というわけでもないけど、最近不  
況でけつこう万引きが多いので、ちびつこといえども警察に突き出  
すだろう。とはいへ、注意しないと、ちびつこたちの犯罪を黙認し  
たことになつてしまつ。うーむ。

おねえさんはムーチカミーチカと田が合つた。怯えた田をしてる。  
早く何か考えないと。

あ。

おねえさんはモップを持つてレジから出た。

「あーあ。そうじかつたるいなあ」

そう言いながらそうじを始め、ポケットから千円札を落とした。  
あわてて拾うムーチカ。

「あのつおねえさん。これ。これつ」

おねえさんはムーチカにウインクした。

ムーチカはどういう意味だらうとどきまぎした。

そして、おねえさんは、そのまま何事もなかつたかのように「あ  
ー忙しい。あー忙しい」と独り言を言つて向こうへ行つてしまつた。

その頃、ムーチカとミーチカの母親を乗せた夜行列車は脱線事故  
を起こし、母親は即死であった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5787k/>

---

ムーチカ・ミーチカ

2010年10月21日23時42分発行